


	<h1>進取の気概</h1> <p>(校長室だより)</p>	<h2>有田市立箕島中学校</h2> <h3>自主 友愛 剛健</h3>	R5・5・11
			No.5

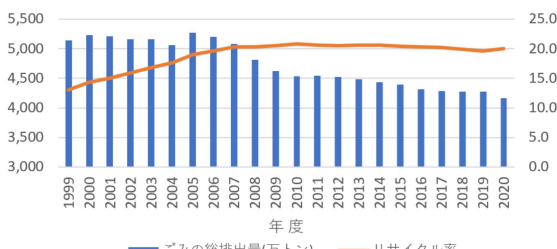
先週の金曜日に遠足に行ってきました。まぶしく感じるほどの青空と新緑、さわやかな風がみなさんがひとつ上の学年に進級したことをお祝いしてくれているようでした。良い思い出ができたのではないのでしょうか。ところで、学校で行われる行事には目的があります。遠足では普段とは違う環境の中で、友だちとふれ合ったり、レクレーションなどの楽しい活動をすることで、連帯感や一体感を高めることが目的の一つです。分かりやすく言うと「いいチーム」をつくるということです。まだまだ新しい一年が始まったばかりですが、今回の楽しかった遠足を今後の学年、学級の仲間づくり(チームづくり)に生かして行ってほしいと思います。

遠足ではゴミ拾い(石川に変わった学年もあります)も計画していました。ゴミは少ないようでしたが、落ちているゴミを目の当たりにして、みなさんどのように感じたでしょうか。大切なことは、これらのことを自分自身の問題として考え、そのために積極的に行動するということです。これを「公共の精神」といいます。「公共の精神」を身につけることも学校行事の目的の一つです。



ゴミの量について調べてみると日本全体でゴミの量は減ってきています。しかしながら、令和2年度のゴミの総量は日本全体で4,167万トン(東京ドーム約12杯分)、1人あたりにすると1年間で329kgのゴミを出していることとなります。リサイクル率は20%でした。「持続可能な世界」を実現するためにSDGs(持続可能な開発目標)という言葉をよく耳にしますが、みなさんはこのゴミの量についてどう思うでしょうか。遠足を通してこのようなことも考える機会になれば素晴らしいことだと思います。

ゴミの総量(万トン)とリサイクル率(%)



(「e-Stat 政府統計の総合窓口」データ)





進取の気概
(校長室だより)

有田市立箕島中学校
自主 友愛 剛健

R5・5・11

No.5



遠足を終えてただ単に楽しかったで終わるのではなく、「いいチームをつくる（集団としての質を高める）」、「公共の精神」という観点からの振り返りを大切にしてほしいと思います。